

ダイズ害虫ウコンノメイガに対する薬剤防除効果

【1 成果概要】

ウコンノメイガに適用のある薬剤はいずれも若中齢幼虫（～5齢）には卓効ですが、終齢幼虫（6齢）に対しては防除効果が低下します。このため、防除時期が遅れないように注意しましょう（表1）。

表1. ウコンノメイガ若中齢（～5齢）幼虫と終齢（6齢）幼虫に対する薬剤防除効果

防除対象	若中齢（～5齢）幼虫	終齢（6齢）幼虫
試験年次	2009年	2010年
判定項目	葉巻数の 補正密度指数	幼虫・蛹数の 補正密度指数
供試薬剤 スミチオン乳剤 1,000倍	9	29
トレボン乳剤 1,000倍	6	45
サイアノックス粉剤 4kg/10a	16	63
無処理	-	-

【2 効果】

ウコンノメイガの適期防除を可能とし、ダイズの安定生産に寄与します。

【3 留意事項】

- ウコンノメイガ幼虫はダイズ葉巻を開くことで容易に確認することができます（図1）。また、終齢（6齢）幼虫の体長は20～25mm程度、若中齢（～5齢）幼虫の体長はいずれも20mm未満です。
- ダイズのウコンノメイガに適用のある薬剤は、スミチオン乳剤、トレボン乳剤、サイアノックス粉剤です（平成22年10月27日現在）。
- 防除時期および要防除水準については現在試験中ですが、現時点では防除時期は7月下旬から8月上旬であり、富山県の要防除水準（7月第6半旬の株あたり葉巻数が6個）を参考にすることとしています。

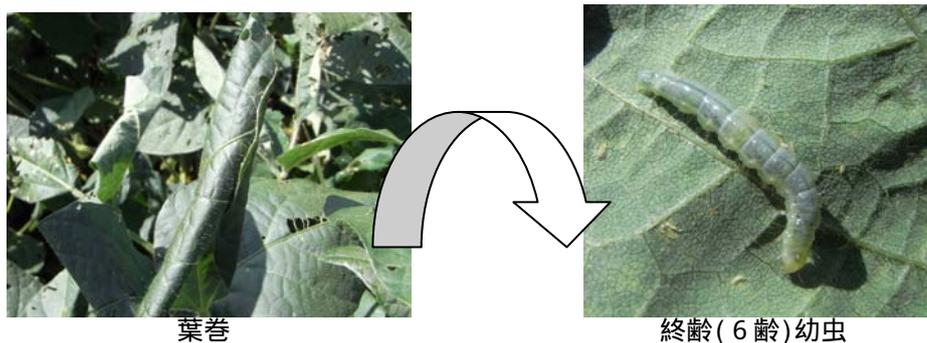


図1. ウコンノメイガの葉巻と終齢幼虫

【4 適応対象】

- 対象者 普及センター等の営農指導者